

武蔵野大学大学院通信教育部 人間社会研究科 実践福祉学専攻
履修に関するご案内と注意事項

通信教育部人間社会研究科実践福祉学専攻の履修・単位取得、スクーリングやレポートの学びの方法等について基本かつ重要となること以下にまとめています。出願時に1年次の履修登録をする際には以下の①～⑧に留意して手続きを進めると共に、学修計画を立てる上で参考にして下さい。

スクーリングは通学課程と合同開講となるため、4学期制で実施する通学課程に合わせてご案内しています。

【通学課程のスケジュール (2025年度)】

開講期		授業期間
前期	1学期	4月16日～6月10日
	2学期	6月13日～7月31日
後期	3学期	9月19日～11月10日
	4学期	11月18日～1月26日

- ① 1年次に開講される必修科目「ソーシャルワークの基礎」(2単位)、「ジェネラリストソーシャルワーク」(2単位)、「ソーシャルワークリサーチ総論」(2単位)、「フィールドワーク演習」(1単位)は、**必ず1年次に履修すること**(⑤にも記載していますが、これらの科目を単位取得しないと「特定課題研究演習」を2年次に提出できません)。
- ② 大学院科目のスクーリングは、基本、対面授業とオンライン(ZOOMを使用)授業のハイブリットでの併講となっています。学びを深める意味でも学修方法はレポート(R)ではなく出来るだけスクーリング(S)で受講を推奨します。
- ③ 「ソーシャルワークリサーチ各論」(1学期開講、選択、スクーリングのみ)は、オムニバスで開講される科目です。実践福祉学専攻の教員全員がそれぞれの専門性を生かしたりサーチ方法をお伝えします。**選択科目ですが、強く履修登録をお勧めします。**受講生がこの科目内容を理解していることを踏まえて、「ソーシャルワークリサーチ総論」(2学期開講、必修、スクーリングのみ)の授業は展開されます。
- ④ 「フィールドワーク演習」(後期、1単位、必修)は特定課題研究(論文指導)の指導教員を選択する上で重要な科目となります。授業日は固定ではなく教員との相談・調整によって決定します。
なお、履修登録者は本科目の指導希望教員を6月末頃までに決めることになります。
- ⑤ 修了要件を踏まえて計画的に履修してください。
 - ・ 修了要件は2年以上在学し、必修7単位を含む26単位以上修得し、かつ「特定課題研究演習」(4単位、必修)の成果の審査および試験への合格である。
 - ・ 2年次開講の「特定課題研究演習」(必修)の履修条件は1年次必修科目の単位修得、並びに履修前年度の指定された日までに研究計画書を提出していることである。

※2年間での修了を計画されている方は、1年目に「特定課題研究演習」以外すべての必修科目の単位を修得できるよう履修計画を立ててください。

- ⑥ 履修1年目の科目(スクーリング科目を除く)の単位を修得できなかった場合、翌年度に同一の学修方法で履修を継続する場合に限り、履修1年目の合格実績を2年目にのみ持ち越すことができます。この場合、履修2年目に関しては、授業料を納入する必要はありません。
- ⑦ 1年次には2回の中間報告会(8月・1月予定)、2年次には1回の中間報告会(8月予定)並びに1回の公聴会(1月予定)を実施しますので、**必ず出席し、研究成果の報告を行ってください。***詳細はWBTや各科目のスタディガイド、通信教育部ガイドを確認して下さい。